

気軽に読める! おすすめ 6冊

となりのもののけさん 競作短篇集

青谷真未・小松エメル・佐々木禎子・
東朔水・村山早紀/著
ポプラ社 ポプラ文庫ビュアフル(2014年)
本体価格620円+税

妖怪の姿を見ることができる^{ゆずき}袖希。
ある日、ごみ捨て場で赤鬼の面を
見つけるが、それは付喪神^{つくもがみ}になっていた。
“付喪神”という言葉すら人々の記憶から
薄れてきた昨今、なぜ、そこに…。
『鬼の目元に笑いジワ』他4話による
もののけ小説アンソロジー。



目でみることば

おかべたかし/文 山出高士/写真
東京書籍(2013年) 本体価格1300円+税

「^{ひいき}轟巖する」の轟巖とは、亀に似た
中国の伝説の生き物であることを
知っていましたか?
普段使っている、40の語句の
そもそものかたちや由来をズバリ、
写真で説明した、見てナツク
読んで発見のことば集です。
「そうだったんだ!」と思わず、
言ってしまいます。

※続刊「目でみることば2」「目でみることば有頂天」全館所蔵。